

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	生涯スポーツ推進事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人權課 体育振興室	
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市体育振興事業補助金交付要綱	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成 27年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまち なんと			終期
(小項目)		スポーツ・レクリエーション			
施策	3	生涯スポーツの振興			
基本事業	2	スポーツ活動の推進			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 市民等						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	スポーツ推進計画を実行するため、各世代の市民が年齢、性別、障がいの有無等にかかわらず、幸福で豊かな生活を営むことができるように、生涯にわたってスポーツ活動に取り組むことができる環境の整備を進める。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	市民のスポーツニーズに対応した多種目のスポーツを提供し、日頃、スポーツに接する機会の少ない子どもから高齢者までのスポーツ活動機会の充実を図る。また、日頃から体を動かすことを意識し、運動の習慣づけを行い、新たにスポーツ推進にチャレンジする団体を支援することを目的に、地域スポーツの担い手である総合型地域スポーツクラブや体育協会加盟団体及び生涯スポーツ推進に意欲のある団体から、事業の企画提案を募集する。応募のあった団体から、事業の実施団体の選定を行い、選定された団体によって市内各地で多世代を対象とした事業を実施する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		生涯スポーツ推進事業イベントへの参加者数	-	480	960	960	960	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	9月より、生涯スポーツ推進事業実施の意思がある団体からの企画提案を募集した。10月に、団体より企画提案のあった事業の比較検討をしながら、補助の対象となる団体を、選定委員会において決定した。11月より5ヶ月間で原則6回程度はイベントを実施することとして、各団体により市内各地でイベントが実施された。						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	生涯スポーツ推進事業実施団体数	-	4	4	4	団体	
	2		-					
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	生涯スポーツ推進事業イベントへの参加者数		-	983	-	-	人	
	目標達成率(実績/目標)			204.8	-	-	%	
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況			計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	0	600	600
		全体予算額	0	0	0	0	600	600
		決算額	0	0	0	0	488	488
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費	
0.5		0.0		3,430		3,918		

【事務事業名：生涯スポーツ推進事業】  
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	0	488	600	600	600
	うち一般財源	0	488	600	600	600
	人件費	0	3,430	3430	3430	3430
	総事業費	0	3,918	4,030	4,030	4,030

積算基礎(※ここは公表しません)		
生涯スポーツ推進事業補助金 ¥488,000	会計	01 一般会計
	款	10 教育費
	項	06 保健体育費
	目	01 保健体育総務費
	細目	005 スポーツ振興補助金
	細々目	09 生涯スポーツ推進事業補助金

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	各実施団体により、子どもから高齢者まで参加できるイベントの提案があり、参加者もある程度いた。
	効率性	B:概ね効率的だった	市からの補助以外にも、参加者から参加料をとるなど、事業の採算が取れるよう考慮されている。
②成果に対する評価	指標名	生涯スポーツ推進事業イベントへの参加者数	
	目標	480	人
	実績	983	人
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		A	初年度で、実施期間は短かったが、事業実施団体が様々なイベントを考え、多くの市民が運動を始めるきっかけとなった。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	各世代の市民が年齢、性別、障がいの有無等にかかわらず、運動できる環境を作り、習慣づけを行っていくという目標となっているため、各団体が実施するイベントの参加者が、障がい者に限定するとなった場合、参加者への呼びかけ、参加人数の確保が容易ではなくなる。また、市内で様々なイベントを実施していると、他のイベントとの兼ね合いも有り、イベントの実施できる場所が限定されてくる。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	補助制度導入より2年目であり、年間通じた事業を行う団体もあることから、今年度の事業の進捗状況を考慮しながら、次年度以降の見直しも視野に入れつつ事業を進めていく。			
	平成29年度	今年度の実施状況により、次年度以降検討する。			